

小池知事挨拶

皆様、こんにちは。東京都エネルギー問題アドバイザーボードへのご参加、ありがとうございます。

この会議は今のタイトル通りでございまして、大状況で言うところの国際情勢を見ますと、気候変動とエネルギー問題、すべてがいっぺんに世界を混乱に貶めているという状況、そして、広島で開催されたG7では、国際秩序の堅持に向けた強い意志と、そして、エネルギー・食料安全保障を含む世界経済、気候変動などが議論されました。

本日だけで見ますと、株は高値を付けておりますが、円安140円台、ニューヨークの数字でいうと、石油価格は73\$と言う状況になっているわけでございます。日々の変動はございますが、日本をとりまく大状況は、エネルギーについて、非常に脆弱であるということは変わりがございません。そういう中で、東京都は1,400万都民、また、首都圏全体を含めましての経済規模を考えて参りますと、色々な意味で、大きな役割を果たさなければならない。そういう中で都としまして、2030年にはカーボンハーフ、2050年にはゼロエミッションという目標を掲げて、日々取り組んでいるところでございます。再生可能エネルギーをしっかりと確保するなど、戦略的な行動が何よりも必要でございます。

直近の課題は、この夏の電力需給をどう対応していくかという目の前の問題もございまして、2050年といったような中長期の目標もございまして。そして、これに加え、エネルギーの安定確保に向けた構造的な課題を考えていかねばならない。当面の対応と中長期的な取組の両面から取り組むということで、「東京都エネルギー問題アドバイザーボード」を設置し、皆様方と議論を重ねていきたいと考えてございます。

エネルギーというと、まさに国策でございます。国をあげて取り組むべき課題、そして、東京都としてもゼロエミッションの実現に向けました、再生可能エネルギーの普及拡大、そして電力の安定確保など、なすべきことをしっかり実行しながら、同時に、国や民間の皆さんを巻き込んでいきたいと考えております。

今日は、オンラインでもご参加誠にありがとうございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。有識者の皆様方の忌憚のないご意見を頂戴したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。冒頭のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。